

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



3月19日に県議会2月定例会が閉会し、国の経済対策分に県の地域活性化を合わせた693億円の2月補正予算と令和7年度当初予算8,448億円が承認されました。今年度は厚生委員会副委員長として医療介護や健康、社会福祉、子ども政策等の条例・予算審議に関わることが出来、皆様の納めた税金が多様な福祉に生かされていることを目の当たりにし国と市町村をつなぐ県の役割を実感することができました。また、政治の世界においても県の職員さんや関係者と信頼関係を構築することが重要だと感じています。少子高齢化が進み厳しい国際情勢にある日本、熊本の為に益々頑張って働いて参ります！

【2月23日開催 2025年春くまもと未来のしごとフェスタ in 錦ヶ丘】

第6回目となる小中学生向け地域職業体験事業「くまもと未来のしごとフェスタ」を錦ヶ丘公園と熊本市東部公民館にて開催いたしました。職業体験ブース、自衛隊等のフリーブースあわせて21の職業を約300名の子ども達に体験してもらいました。今回は校区青少協の事業として「NPO法人自然を愛する会」さんのポイントラリーも同時開催。関係者の皆様、大変お世話になりました！



書籍紹介



『火の鳥 未来編』

手塚治虫/著

小学生の頃から図書館に入り浸って毎日のように夢中で読み漁っていた手塚治虫先生の人気漫画。立ち寄った本屋さんで文庫版が出ていたので、つい買ってしまいました。読み終えて6年生の長男に渡すと、彼も夢中で読んでいます。手塚先生のマンガを読むと、人間の想像力の凄さと日本人の根底にある生命観や宇宙観が物語に込められているのを感じます。今のAIの時代だからこそ読むべき本です。

今月の数字

熊本県に住んでいる台湾からの在住者

1,753人(令和6年6月時点)

法務省入国管理局のデータによると令和6年6月時点の熊本県在留の外国人は27,407人と県人口の1.6%に達しました。令和3年度、令和4年度の対前年比在留外国人増加率はともにプラス24%と全国トップ。特に台湾からの在留者は令和3年12月の183人から1,753人へと9.5倍に増えました。更に令和6年の台湾からの延べ宿泊客は速報値で約41万人を記録。熊本のビジネスに台湾との交流は大きな影響を及ぼしています。台湾有事の懸念や文化の違いはありますが、諸々乗り越えて良い関係を築いていきたいものです。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

【学校】託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科

【経歴】現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本市第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

【資格】宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士